

院内死亡症例に関する後ろ向き調査(過去の診療記録に関する調査)のお願い

熊本大学病院 救急部におきましては、院外・院内発症での救急疾患について日々の患者様への診療を行いながら、新たな知見を加えることによって臨床の発展に寄与することを目指しています。その実現のためには、日々の私たちの診療を振り返り、急変で亡くなられた患者さんに関して詳しく調査を行うことが、急変時対応の理解を深めるためにも極めて重要と考えております。その一つとして下記の研究を進めております。ご協力いただけましたら幸いです。

【研究課題】

院内急変時の急変対応システムに関する後ろ向き調査

【研究期間】

2021年4月1日～2022年3月31日

【対象となる方】

2021年4月1日以降から2022年3月31日までの間に当院において入院加療中に死亡された患者様で、予期せぬ状態変化で亡くなったか、あるいは院内急変対応システムを利用された方

【研究の方法】

熊本大学病院におかかりになられている患者さまで各診療科が診察・検査・治療あるいは判定を行なった診療行為はカルテを含む診療情報として長年にわたり蓄積されています。この膨大な患者カルテ・診療情報・検査および治療の結果を閲覧しながら、患者さまの個人情報を除いたデータベースを作成し、急変時の発症リスク、院内急変システムの有効性・問題点およびそれらを規定する因子について熊本大学病院・救急部の中で調査を行っております。

この調査はあくまで過去に行われた診療データを調査するもので直接患者さまに薬や治療により新たに介入を行うことはなく患者さまの生命・健康に直接影響を及ぼすことはありません。もちろん患者さまのお名前、生年月日など患者さまご本人と特定できるような個人情報は省かれており、患者さまの診療に関する情報が個人を特定できる形で外部に漏洩することはありません。

この研究は、熊本大学医学部倫理委員会の承認を受け、熊本大学病院長の許可を受けて実施するものです。

【個人情報保護】

あなたの人体試料や情報・データ等は、解析する前に氏名・生年月日等の個人情報を削り、

代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当医局において入江弘基(研究責任者)が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当医局においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の研究事務局まで2022年6月15日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等に発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら研究事務局へお尋ねください。

本研究は、診療によって得られたデータを使用するため研究費は生じません。尚、患者様への謝金はございません。

本研究の利害関係の公正性については、熊本大学大学院生命科学研究部等医学系研究利益相反委員会の承認を得ております。今後も、当該研究経過を熊本大学大学院生命科学研究部長へ報告すること等により、利害関係の公正性を保ちます。

2022年4月21日

【問い合わせ先】

【研究責任者】 入江弘基

熊本大学病院 救急部

住所:熊本県熊本市中央区本庄 1-1-1

電話:096-373-5769